デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HDC-303X形	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　（ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
　（ニ）車輌、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
　（ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
　（ヘ）本書のご提示がない場合。
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には P00 のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または P103 のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ
HDC-303X形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-303X形」をお求めいただき、
まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。

「とにかく使ってみる」という方へ
目次の 1 ～ 6 の手順でお試しください。

目次

はじめに 4

基本操作編 25

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

応用操作編 57

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

パソコン接続編 79

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

付録 87

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠警　告

アルカリ電池に注意する。

アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。

電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

お子様の手の届かないところで使用・保管する。

乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。

内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発行しない。

目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。
特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠注　意

コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。

火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。

電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。

事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。

暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。

故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。

けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または関連のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃〜40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。

本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。使用できる電池 P27

また、単4形マンガン乾電池は使用できません。

万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

操作音について

撮影時などの各操作時には、電子音で各操作をおしらせします。この操作音のオン／オフや大きさを設定することはできません。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（別売）を使用できます。
（32/64/128/256/512MB/1GB対応）
（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、
（株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。
ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）** P77 してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする** P77 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

■ 商品概要

本製品は、315万画素CMOSイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、スリムサイズを実現し、いつでもどこにでも持ち歩けるデジタルカメラです。
主な特長は以下の通りです。

主な特長

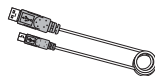
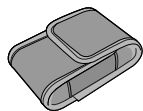
○ 約315万画素CMOSイメージセンサー搭載
○ 1.5型TFTカラー液晶モニター搭載
○ 保存も安心の32MB内蔵フラッシュメモリ＆SDメモリーカードスロット搭載（※） P34
○ 季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能（約17cm～約20cm） P42
○ 連写撮影機能 P67
○ 動画撮影機能 P43
○ 多彩な再生モード
（シングル再生 P47、ズーム再生 P48、インデックス再生 P49、動画再生 P50、スライドショー再生 P71）
○ すぐに使えるオールインワンパッケージ
（※）SDメモリーカードは別売です。

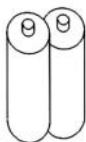
■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

・カメラポーチ

・ネックストラップ

・専用USBケーブル

・単4形アルカリ乾電池 2本

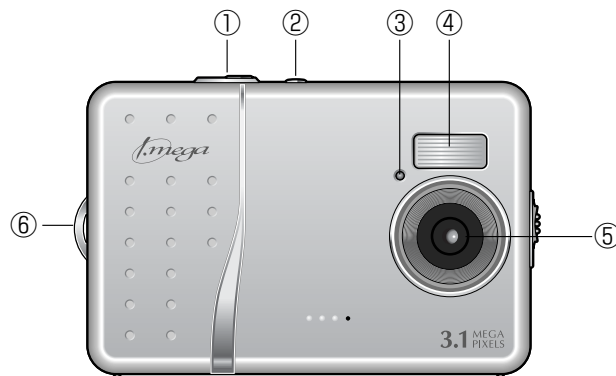
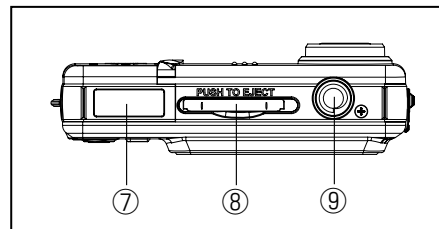
・クリーナー（ペット型）

・取扱説明書（保証書付）

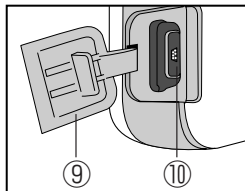
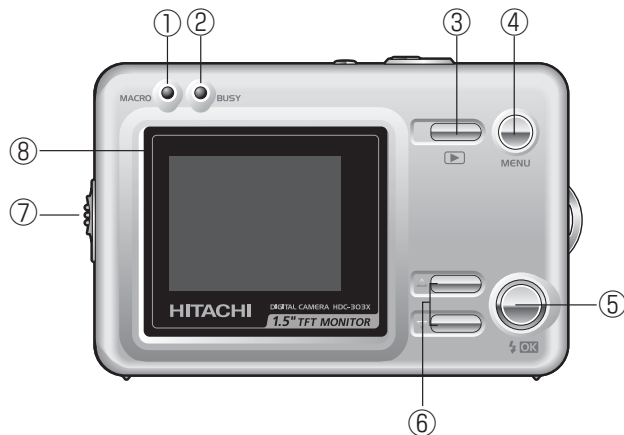
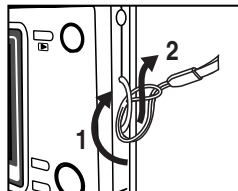
●SDメモリーカードは別売です。**SDメモリーカードを使う場合** P34 、**SDメモリーカードについて** P12

●以降、この取扱説明書では、専用USBケーブルをUSBケーブルと表記します。

■ 各部の名称

正面

①シャッター S
②電源スイッチ
③セルフタイマーランプ（レッド）
④ストロボ
⑤レンズ
⑥ネックストラップ取付部
⑦電池カバー
⑧SDメモリーカードスロット
⑨三脚ねじ穴

底面

背面

①MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）
②BUSY（ビジー）ランプ（レッド）
③再生ボタン
④MENU（メニュー）ボタン
⑤OKボタン OK
⑥セレクトボタン
⑦撮影距離切替スイッチ
⑧液晶モニター
⑨インターフェースカバー
⑩USB端子

ネックストラップの取付け方

MENU（メニュー）ボタン

各種メニューを表示させる場合やカメラの動作するモードを切り替える（モードセレクトメニュー P20 を表示させる）場合に使用します。各モードによって複数の役割があります。

モードセレクトメニューを表示させる場合は長押しします。

モード	MENU（モード）ボタンの役割
静止画撮影モード／動画撮影モード	撮影時の各種設定など撮影メニューを表示させる場合や、モードセレクトメニュー P20 を表示させる場合に使用します。**撮影メニューを表示させる場合は、長押しする必要はありません。**
再生モード	画像の消去やスライドショー再生など再生メニューを表示させる場合や、モードセレクトメニュー P20 を表示させる場合に使用します。**再生メニューを表示させる場合は、長押しする必要はありません。**
セットアップモード	モードセレクトメニューを表示させる場合 P20 に使用します。

各モードで表示されるメニューや設定項目については、**メニューと設定項目** P97 をご覧ください。

再生ボタン

静止画撮影モード／動画撮影モードの各モードから、再生モードに切り替える場合や、液晶モニターの表示を切り替える場合 P24 に使用します。

●再生モードへ切り替える場合は長押ししてください。上手く長押しされないと、液晶モニターの表示が切り替わるだけで、再生モードへ切り替わりません。
●動画撮影モード時も同様の操作で再生モードに切り替わります。

〈静止画撮影モード〉 〈再生モード〉

（長押し）

セレクトボタン

基本的には項目を選ぶ場合に使用するボタンですが、各モードによって複数の役割があります。

モード	セレクトボタンの役割
静止画撮影モード／動画撮影モード／	デジタルズームを調整する場合に使用します。P46
再生モード	再生したい画像を選ぶ場合や、デジタルズームや表示位置を調整する場合に使用します。P48
セットアップモード	各種設定の項目や設定内容を選ぶ場合に使用します。

OKボタン

基本的にはセレクトボタンで選んだ内容を決定する場合に使用しますが、各モードによって複数の役割があります。

モード	OKボタンの役割
静止画撮影モード	ストロボモードを選ぶ場合に使用します。P40
再生モード	インデックス再生 P49 をする場合に使用します。
セットアップモード	セレクトボタンで選んだ各種設定の項目や設定内容を、選択･決定する場合に使用します。

以降、この取扱説明書では、MENUボタン、再生ボタン、セレクトボタン、OKボタンでの操作を次のように表記します。

●MENUボタン、再生ボタンを押す操作
→ MENU 、 ▶ を押す

●セレクトボタン ▲ / ▼ 、OKボタン を押す操作
→【▲】、【▼】、OK を押す
→【▲】、【▼】で選ぶ

モードセレクトメニューについて

カメラの動作するモードを切り替える場合は、モードセレクトメニューを表示させ、以下の操作で切り替えます。

1 MENU

／／／の各モードから、MENUを

モードセレクトメニューが表示されます。

2

【▲】【▼】でモードを選び、

枠で選択されている部分を表します。

OKを押します。

選んだモードに切り替わります。

静止画撮影モード： 静止画を撮影するモードです。

動画撮影モード： 動画を撮影するモードです。

セットアップモード： 撮影時の設定や日付／時刻などの各種設定を行うモードです。

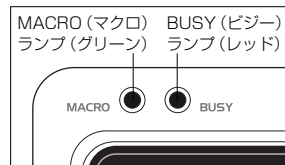
再生モード： 静止画／動画を再生したり、画像の消去を行うモードです。

MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）

点灯：マクロモード時（撮影可能範囲約17cm～約20cm）
消灯：標準モード時（撮影可能範囲約120cm～∞）

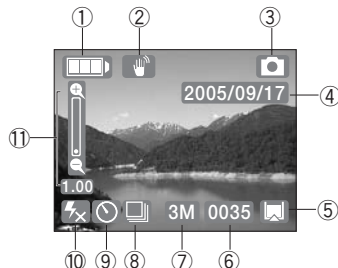
MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）が点灯している状態で撮影可能範囲外の撮影を行うと焦点が合わないのでご注意ください。

BUSY（ビジー）ランプ（レッド）

点灯：カメラ起動中／画像記録中など
点滅：ストロボ充電時など

以降、この取扱説明書では、MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）、BUSY（ビジー）ランプ（レッド）をMACROランプ、BUSYランプと表記します。

■ 液晶モニターの表示

液晶モニターの表示は〈通常表示〉／〈画像のみ〉を切り替えることができます。**液晶モニターの表示切替について** P24 をご覧ください。

静止画撮影モード時　**静止画を撮る** P38

①電池残量 P28
- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

② 手ぶれ注意マーク
手ぶれについて P40

③ 静止画撮影モードマーク

④日付 P30

⑤メモリ残量
- メモリ残量は十分です。
- メモリ残量が少なくなっています。
- まもなくメモリ残量がなくなります。
- メモリ残量がありません。

※SDメモリーカード(別売)使用時は、枠が で表示されます。

⑥撮影可能枚数 P99

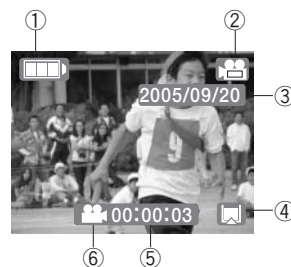
⑦画像サイズ（記録画素数）P62
- **3M**（2048×1536）
- **2M**（1600×1200）
- **1M**（1280×960）

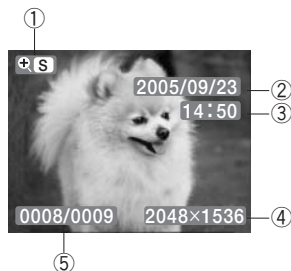
⑧撮影モード
(表示なし)シングル撮影モード
連写撮影モード P67

⑨ セルフタイマー P65
（※オフ時は非表示）

⑩ストロボモード P40
- 発光禁止モード
- オートモード

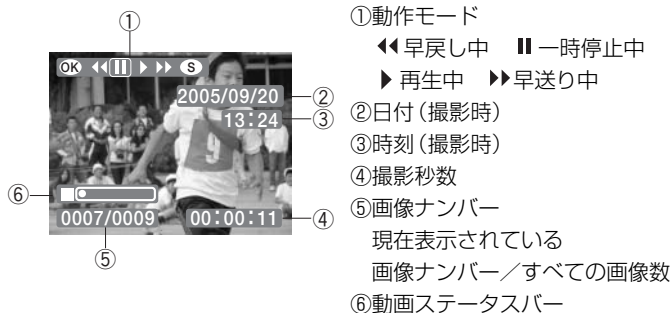
⑪ズームバー P46
（※ズーム使用時のみ）

動画撮影モード時　**動画を撮る** P43

①電池残量 P28
② 動画撮影モードマーク
③日付 P30
④メモリ残量
⑤撮影秒数（※動画撮影中に表示）
⑥ 動画撮影中アイコン
（※動画撮影中に表示）

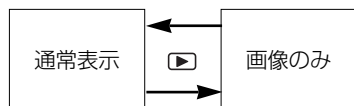
再生モード時（静止画）　**静止画／動画を見る** P47

①操作ガイド（ズーム再生切替 P48）
②日付(撮影時)
③時刻(撮影時)
④画像サイズ P62
⑤画像ナンバー
現在表示されている画像ナンバー／すべての画像数

再生モード時（動画）

静止画／動画を見る P47

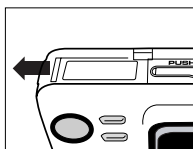
①動作モード
　◀◀ 早戻し中　❚❚ 一時停止中
　▶ 再生中　▶▶ 早送り中
②日付（撮影時）
③時刻（撮影時）
④撮影秒数
⑤画像ナンバー
　現在表示されている
　画像ナンバー／すべての画像数
⑥動画ステータスバー

液晶モニターの表示切替について

液晶モニターの表示は、▶ を押して切り替えることができます。

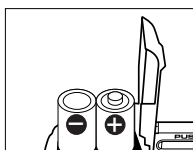
［静止画撮影モード／動画撮影モード／再生モード共通］

- ここで選んだ〈通常表示〉／〈画像のみ〉の設定は、モードを切り替えたり、電源をオフにしたりすると〈通常表示〉に戻ります。
- 長押しの操作（再生モードへの切替 P18 ）とは異なりますのでご注意ください。

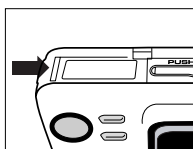
基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

■ 電池を入れる

電池カバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2

＋とーのしるしにあわせて電池を入れます。

3

電池カバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単4形アルカリ乾電池以外に、単4形ニッケル水素電池を使用できます。（日立マクセル(株)HR-4SD推奨）
液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示** P28 をご覧ください。

- 単4形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P99 ）は、約80枚です。
  より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単4形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。
- オキシライド乾電池を使用することは可能ですが、電池残量の表示など正しく表示できない場合があります。

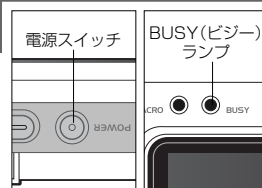
電池残量の表示

電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、ストロボを使用することはできません。
また、**フォーマットする** P77 場合など、正常に動作せず、
SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されて
いるデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と
交換することをおすすめします。）
電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- **使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。**
- **電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。**

電池寿命の目安については、電池寿命の目安 P99 **にてご確認ください。**

■ 電源のオン／オフ

1

電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。
BUSYランプが点灯し、静止画撮影モードで起動し、液晶モニターに映像が表示されます。

2 **電源スイッチを押して、電源をオフにします。**

電源スイッチを押す操作が短すぎると、電源がオンしない場合があります。その場合は、再度操作をやり直してください。

オートパワーオフ機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能（オートパワーオフ機能）がついています。
電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は［1分］ P60 ）と、自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源スイッチを操作して電源をオンにしてください。

- パソコンとUSB接続している場合や**スライドショー再生** P71 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **電池交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約一時間バックアップされますが、電池の使用時間によっては、リセットされる場合があります。**
- **ここで設定した日付／時刻、表示形式は、電源をオフにした後や初期設定に戻す P36 操作を行っても保持されます。**

1

静止画撮影モードから、MENU を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】で セットアップモードを選び、

OK を押します。

セットアップメニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［日付／時刻］を選び、

OK を押します。

日付／時刻設定画面が表示されます。

4

2005 / 09 / 17
12 : 41
年 / 月 / 日
セット OK 終了 MENU

「年月日」→「時間」→「表示形式」の順に【▲】【▼】、▶ を使ってあわせ、

【▲】：数値をプラス（＋）、表示形式の選択
【▼】：数値をマイナス（－）、表示形式の選択
▶（［▶］）：数値の決定と項目の移動

すべて合わせたら OK を押します。

セットアップメニューに戻ります。

5

MENU

MENU を長押ししてモードセレクトメニューに戻ります。

基本操作編

日付／時刻を合わせる

■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電波周波数のお買い上げ時の設定は [50Hz] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

MENU

静止画撮影モードから、MENUを長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】でセットアップモードを選び、

日付／時刻
OK
OK
OK
1分

OKを押します。

セットアップメニューが表示されます。

3

ヘルツ
OK
OK
1分
Hz 50 60

【▲】【▼】で [ヘルツ] を選び、

OKで[50（Hz）]／[60（Hz）]を選びます。

4

MENU

MENUを長押ししてモードセレクトメニューに戻ります。

ここで選んだ電源周波数（ヘルツ）は、**初期設定に戻す** P36 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（32/64/128/256/512MB/1GB対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。
（内蔵32MBフラッシュメモリ搭載）

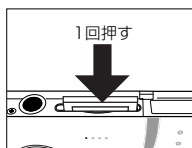
- **撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間** P99 **をご覧ください。**

新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）** P77 してから使用してください。

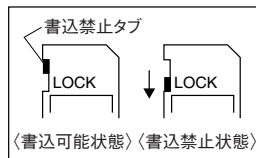
1

ラベル面
（本体正面側）

SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを挿入します。
SDメモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

2

SDメモリーカードを取り出す場合は、SDメモリーカードを1回押して取り出します。

- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDモリーカードが優先されます。SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を消去することはできません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。

SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると、通常の撮影や消去ができません。
撮影時には（カードロックアイコン）が表示され、再生時の［消去］や、セットアップモードの［フォーマット］などは選べなくなります。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1

MENU

静止画撮影モードから、MENU を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】でセットアップモードを選び、

OK を押します。

セットアップメニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［初期設定に戻す］を選び、

OK を押します。

確認画面が表示されます。

4

または

MENU

初期設定に戻す場合は OK を押します。

キャンセルする場合は MENU を押します。

セットアップメニューに戻ります。

5

MENU を長押ししてモードセレクトメニューに戻ります。

各項目の初期設定

設定項目	初期設定
画像サイズ P62	2048×1536（約315万画素）
露出補正 P64	±0
セルフタイマー P65	オフ
撮影モード P67	シングル（通常）撮影
ホワイトバランス P69	オート AWB
日付プリント P70	オフ
オートパワーオフ P60	1分

表示言語、ヘルツ（電波周波数）、日付の表示形式の項目は**初期設定に戻す**操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

1

電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。

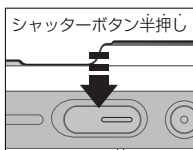
静止画撮影モードで起動し、液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P29

2

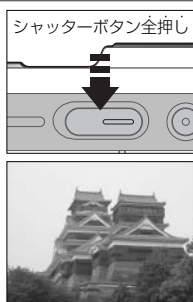
脇を締めて両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

3

シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに**［　］**が表示されます。

シャッターボタンの押し方 P39

4

半押しのまま、被写体の中心を［　］にあわせ、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

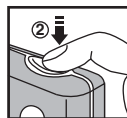
●BUSYランプが点灯し、"ピピッ"という音とBUSYランプの消灯で、撮影の完了をおしらせします。

撮影された画像が液晶モニターに表示されます。

- BUSYランプの点灯中は、"画像記録中"のため、次の撮影はできません。
- 撮影したあとに、BUSYランプが点滅している場合は、ストロボの充電中です。**ストロボを使う** P40
- シャッターボタンを全押しして、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因になります。BUSYランプが消灯するまで、カメラを固定してください。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

①**半押し**（浅く押したとき）→液晶モニターに**［　］**を表示します。

②**全押し**（深く押したとき）→シャッターが切れます。

半押しで構図を確かめ、全押し時は指の腹でやさしく押してください。全押し時に力が入ると、カメラが下がり画像がブレる原因になります。

手ぶれについて

・シャッターボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。
・被写体の明るさやストロボモードの状態（暗い場所でストロボが発光禁止になっているなど）から、手ぶれしやすい場合は、手ぶれ注意マークが表示されます。
・手ぶれ注意マークが表示されている場合は、被写体や撮影モード（ストロボモードなど）を変更するか、三脚を使うなどして、カメラをしっかりと固定して撮影してください。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1

静止画撮影モードで、OK（ ）を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。

● 選んだストロボモードが液晶に表示されます。
● ストロボオートモードを選ぶと、BUSYランプが点滅し、ストロボの充電中をおしらせします。

ストロボの充電中は、液晶モニターは表示されません。

● ストロボの充電中に再度 OK を押すと、ストロボの充電を停止し、発光禁止モードに切り替わります。

発光禁止モード： ストロボは発光しません。**初期設定**
暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

オートモード： 撮影環境に応じて自動的にストロボを発光します。

● ストロボによる連動範囲(推奨)は、約1.2m〜約1.5mになります。この範囲外の被写体に対しては適切な効果を得られない場合がありますので、連動範囲を目安にご使用ください。
● ストロボ撮影時において、被写体までの距離が連動範囲より近い場合は、画像が白とびする（白くなる）場合があります。
● ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしても保持されますが、初期設定に戻す P36 操作を行うと発光禁止モードに戻ります。
● 電池残量が の場合や マクロモード時、連写撮影モード時 P67 は、ストロボは発光しません。
● 電池残量が の場合でも、暗いところの撮影時にストロボが発光しない場合や、ストロボの充電中に電源がオフになる場合があります。その場合は、電池を交換することをおすすめします。
● ストロボ撮影したあとにのBUSYランプが点滅している場合はストロボの充電中です。ストロボの充電中はシャッターボタンを押しても撮影することはできません。
● ストロボの充電には約20秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
● 発光禁止モードを選んでいる場合で、手ぶれ注意マークが表示されている場合は、オートモードでの使用をおすすめします。

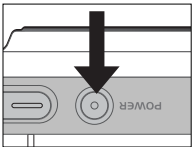
■ 近距離撮影をする（マクロ撮影）

マクロモードに設定して撮影すると、約17cm〜約20cmの近距離撮影が可能になります。

1

静止画撮影モードで、撮影距離切替スイッチを（マクロモード）に切り替えます。

MACROランプが点灯し、マクロモードが設定されたことをおしらせします。

マクロモード：
撮影可能範囲約17cm〜約20cm
標準モード：
撮影可能範囲約120cm〜∞

- **マクロモードと標準モード以外の範囲では、焦点が合いにくい場合がありますので、撮影可能範囲での撮影をおすすめします。**
- **マクロモードに設定すると、ストロボは発光されません。**

■ 動画を撮る

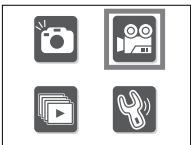
本機は動画（音声なし）を撮影できます。撮影した動画はカメラで再生することができます。

動画ファイルについて P45

1

電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P29

2

静止画撮影モードから、を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

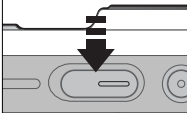
モードセレクトメニューについて P20

3

【▲】【▼】で動画撮影モードを選び、

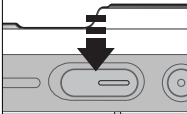
OKを押します。

液晶モニターに（動画撮影モードマーク）が表示され、動画撮影モードになります。

4

シャッターボタンを全押しします。

●液晶モニターに (動画撮影中アイコン) と撮影秒数が表示され、撮影が開始されたことをおしらせします。

5

シャッターボタン全押し

撮影をストップするときは、シャッターボタンを全押しします。

動画撮影を停止します。

●**撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的に停止します。**
●**ストロボ、セルフタイマー撮影はできません。マクロモード P42 、ホワイトバランス P69 、露出補正 P64 の設定は動画撮影時も有効です。**

動画ファイルについて

画像サイズ(記録画素数)	320×240ピクセル
記録画像ファイルフォーマット	AVI (Motion JPEG、音声なし)
フレームレート	約15フレーム/秒
記録時間	内蔵32MBフラッシュメモリ時：最大約340秒 SDメモリーカード64MB(別売)時：最大約690秒

データサイズ、撮影時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

●動画ファイル(ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player(※)などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

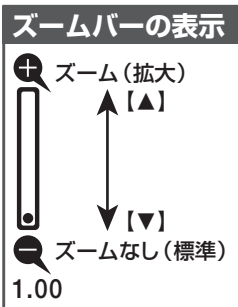
(※) Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
その場合は、コーデック(Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張(再生)を行うための専用プログラム)が含まれるDirectX8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

■ ズーム撮影をする

被写体をズーム倍率4倍(デジタルズーム)で拡大して撮影できます。

1 **静止画撮影モード／動画撮影モードで、【▲】【▼】を押して、ズームを調整します。**

液晶モニターにズームバーが表示され、ズーム倍率(数値)を表示します。

ズームバーの表示

- ズーム撮影は**動画撮影時(撮影中)も有効です**。
- ここで選んだデジタルズームは、撮影後も有効ですが、モードを変更したり、再度電源を入れ直したりすると、ズームなし(標準)に戻ります。
- デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできません。

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。

1

電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P29

2

静止画撮影モードから▶を長押しします。

最後に撮影された画像が表示されます(シングル再生)。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

3 **【▲】【▼】で画像を選びます。**

- 動画の場合は最初の1フレームが表示されます。

【▲】→

【▼】→

ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を4倍までの倍率でズーム再生することができます。

動画像はズーム再生できません。

1

【▲】【▼】でズーム再生したい画像を選び、

Sシャッターボタンを押します。

ズームバーが表示され、ズーム倍率設定モードに切り替わります。

2

【▲】【▼】でズーム倍率を選びます。

【▼】を押して"1.00"(倍)を選ぶと、ズーム倍率設定モードを解除します。ズーム再生をする場合は、もう一度Sシャッターボタンを押します。

3

表示位置を変更する場合は OK を押します。

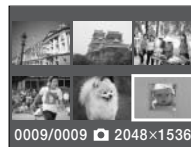
上下左右の操作ガイドが表示され、表示位置設定モードに切り替わります。

▲:▲ を押す　P: ▶ を押す
▼:▼ を押す　M: MENU を押す

OK を押すと、ズーム倍率設定モードに戻ります。

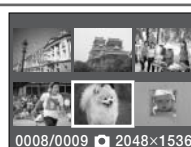
インデックス再生をする場合は

液晶モニターに6分割で複数の画像を表示させることができます。
たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

1

シングル再生時に OK を押します。

インデックス再生画面になります。

液晶モニターの表示切替について
P24

2

【▲】【▼】で画像を選びます。

静止画( )や動画( )を表すアイコンや、画像情報などが画面に表示されます。

3

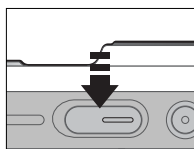
OK を押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

動画を再生する場合は

1

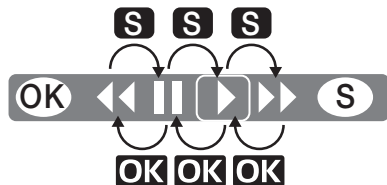
【▲】【▼】で再生したい動画を選びます。

動画には動画操作ガイドと動画ステータスバーが表示されます。

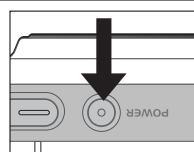
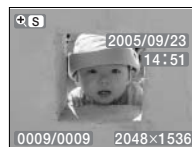
2

シャッターボタンを押すと、再生をスタートし、撮影秒数がカウントされます。

《動画再生中の操作方法》

動画再生中は、一時停止（❚❚）、早送り（▶▶）、早戻し（◀◀）ができます。

OK と S シャッターボタンの操作で選択します。

画像を消去する

一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。
消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

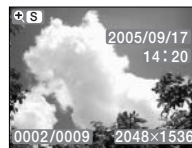
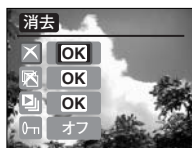
1

電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P29

2

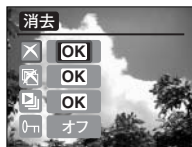
静止画撮影モードから ▶ を長押しして、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

3

【▲】【▼】で消去したい画像を表示させます。

MENU を押します。

再生メニューが表示されます。

5

【▲】【▼】で［消去］を選び、

OK を押します。

消去確認の画面が表示されます。

- この時点ではまだ消去されていません。

6

画像を消去する場合は OK を押します。

画像が消去され再生モードに戻ります。

または

キャンセルする場合は MENU を押します。

再生メニューに戻ります。再度 MENU を押すと再生モードに戻ります。

- 画像の消去はインデックス再生画面からも行うことができます。**インデックス再生画面から画像を消去する場合** P53 の手順で操作してください。
- すべての画像を消去する場合は、**すべての画像を消去する場合** P55 の手順で操作してください。

インデックス再生画面から画像を消去する場合

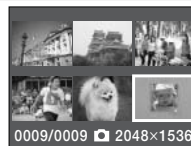
1

シングル再生時に OK を押します。

インデックス再生画面になります。

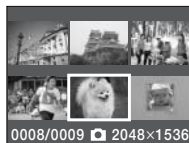
インデックス再生をする場合は P49

2

MENU を押します。

再生メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［消去］を選び、

OK を押します。

【▲】【▼】で消去したい画像を選び、

OK を押します。

消去確認の画面が表示されます。

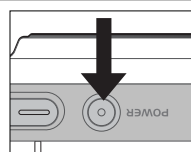
- この時点ではまだ消去されていません。
- キャンセルする場合は MENU を押して、インデックス再生画面に戻ります。

または

画像を消去する場合は OK を押します。

選んだ画像が消去されます。

- 続けて消去を行う場合は【▲】【▼】で画像を選択して OK を押し、終了する場合は MENU を押して、インデックス再生画面に戻ります。

すべての画像を消去する場合

電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P29

静止画撮影モードから ▶ を長押しして、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

MENU を押します。

再生メニューが表示されます。

4

全画像消去
OK
OK
OK
オフ

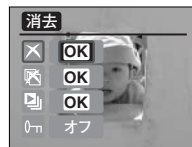
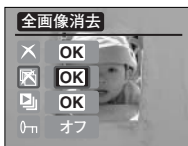
【▲】【▼】で［全画像消去］を選び、

OK

OK を押します。

消去確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

OK
または

MENU

すべての画像を消去する場合は OK を押します。

画像が消去され「画像がありません」と表示されます。

キャンセルする場合は MENU を押します。

再生メニューに戻ります。再度 MENU を押すと再生モードに戻ります。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モード：≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について

■ 表示言語を設定する

モード：

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語
English（英語）
简体中文（中国語）

表示言語のお買い上げ時の設定は［日本語］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

モードから、を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】で モードを選び、

OK を押します。
セットアップメニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［表示言語］を選び、

OK を押します。

4

【▲】【▼】で設定したい表示言語を選び、

OK を押します。
選んだ内容を保持し、セットアップメニューに戻ります。

5

を長押ししてモードセレクトメニューに戻ります。

ここで選んだ表示言語は、**初期設定に戻す** P36 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ オートパワーオフの時間を設定する モード：

オートパワーオフの時間（30秒／1分 **初期設定** ／3分 ／5分）を設定できます。**オートパワーオフ機能について** P29

1

モードから、 を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】で モードを選び、

OK を押します。

セットアップメニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［オートパワーオフ］を選び、

OK で［30秒］／［1分］／［3分］／［5分］を選びます。

4

MENU

を長押ししてモードセレクトメニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P36 操作を行うと［1分］に戻ります。
- USB接続している場合や**スライドショー再生** P71 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。

撮影(静止画／動画)について

■ 画像サイズ(記録画素数)を設定する

モード：

目的に応じて、画像サイズ(記録画素数)を設定できます。

3M（2048×1536）（約315万画素）**初期設定**
2M（1600×1200）（192万画素）
1M（1280×960）（約123万画素）

- ここで選んだ画像サイズは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P36 操作を行うと画像サイズは [2048×1536] に戻ります。
- 各画像サイズでの記録枚数については、**画像記録枚数・時間** P99 をご覧ください。
- 動画撮影時の画像サイズは変更できません。

1 モードから、 を押します。
撮影メニューが表示されます。

2 【▲】【▼】で [画像サイズ] を選び、
OK で [1M]／[2M]／[3M] 選びます。

3 を押して モードに戻ります。

画像サイズ(記録画素数)について

画像サイズを大きくすると、データ容量は大きくなり、メモリなどに記録できる画像枚数が少なくなります(画像記録中の時間も長くなります)。
2048×1536／1600×1200はプリントユースで使用する場合、1280×960はメール添付用などインターネット上で使用する場合を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

■ 露出(明るさ)補正を設定する　モード：

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出(明るさ)を補正することができます。

○設定できる露出補正の段階
（単位：EV(Exposure Value、露出量を表す単位)）：

初期設定

－2EV、－1.5EV、－1EV、－0.5EV、0EV、0.5EV、1EV、1.5EV、2EV

1

／の各モードから、を押します。

撮影メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［露出補正］を選び、

OKで露出補正の段階を選びます。

3

を押して／モードに戻ります。

ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P36 操作を行うと［0EV］に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る　モード：

セルフタイマー機能を使用して撮影することができます。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

⊗：なし　初期設定
：10秒後に撮影されます。
：15秒後に撮影されます。
：20秒後に撮影されます。

1

モードから、を押します。

撮影メニューが表示されます。

2

セルフタイマー
3M
オフ

【▲】【▼】で［セルフタイマー］を選び、

OKで［10秒］／［15秒］／［20秒］を選びます。

3

を押してモードに戻ります。

液晶モニターにが表示されます。

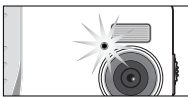
4

構図を決め、シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに【　】が表示されます。

シャッターボタンの押し方 P39

5

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- セルフタイマーランプ（レッド）の点滅と液晶モニターに数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、設定秒数後に撮影されます。

- **セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、シャッターボタンをもう一度押します。**
- **撮影時の各設定（画像サイズ、ズーム、ホワイトバランス、露出補正、マクロモードなど）はセルフタイマー撮影時も有効です。**
- **セルフタイマーモードは、再度電源を入れ直したり、一度撮影が終わると解除されます。**

■ 連写撮影をする

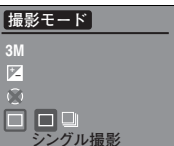
モード：

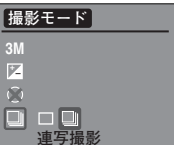
本機は連写撮影をすることができます。
1回のシャッターボタンの操作で、自動的に3枚（約0.6秒間隔）の画像を連写撮影します。

1

モードから、を押します。

撮影メニューが表示されます。

2

撮影モード
3M
シングル撮影

【▲】【▼】で［撮影モード］を選び、

OK で［連写撮影］を選びます。

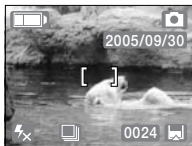
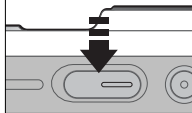
［シングル撮影］は通常の1枚ずつ撮影するモードです。

3

を押して モードに戻ります。

液晶モニターに が表示されます。

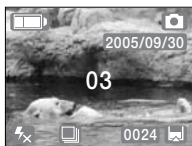
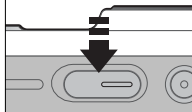
4

シャッターボタン半押し

構図を決め、シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに【 】が表示されます。

シャッターボタンの押し方 P39

5

シャッターボタン全押し

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- 液晶モニターに数字が01、02、03と表示され、3枚の画像を連写撮影します。

- **ここで選んだ撮影モードは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P36 操作を行うと［シングル撮影］に戻ります。**
- **［連写撮影］を選んでいる場合は、ストロボは発光しません。モードになります。**
- **［連写撮影］を選んでいる場合は、セルフタイマー撮影はできません。**
- **［連写撮影］を選んでいる場合の画像サイズは設定内容に関わらず1280×960（約123万画素）になります。**

■ ホワイトバランスを設定する　モード：

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

AWB **オート**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**
晴天：晴天下での撮影
曇天：曇天下での撮影
白熱灯：白熱灯下での撮影
蛍光灯1：蛍光灯下での撮影（色温度約4,000K）
蛍光灯2：蛍光灯下での撮影（色温度約5,000K）

1

／の各モードから、を押します。

撮影メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［ホワイトバランス］を選び、

OK でホワイトバランスの種類を選びます。

3

を押して／モードに戻ります。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P36 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ 日付プリントを設定する

モード：

撮影画像に撮影時の日付、または日付と時刻を焼き付けることができます。

日付プリントの設定を（日付のみ）／（日付と時刻）にして撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付（日付と時刻）が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

1

モードから、を押します。

撮影メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［日付プリント］を選び、

OKで［オフ］／［日付のみ］／［日付と時刻］を選びます。

3

を押してモードに戻ります。

- ここで選んだ日付プリントのオン／オフは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P36 操作を行うと（オフ）に戻ります。
- 日付プリントの文字は紫色のため、背景が同様の色の場合は、文字が見えにくい場合があります。
- 日付プリントの形式や、文字の色や大きさを設定することはできません。

再生（静止画／動画）について

■ スライドショー再生をする

モード：

メモリ内にあるすべての画像を約3秒間隔でスライドショー再生することができます。

1

を押して、モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

2

を押します。

再生メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［スライドショー再生］を選び

OKを押します。

メモリ内にある一番最初の画像からスライドショー再生を開始します。

- 再生中に、OK または、MENU を押すか、シャッターボタンを全押しすると、スライドショー再生を停止します。

- スライドショー再生時の再生間隔や画面切替方法、表示モードを設定することはできません。
- 動画の場合は最初の1フレームが表示されます。
- スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** P29 ははたらきません。

■ 画像プロテクトを設定する

モード：

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトをかけることができます。

- プロテクトされた画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。
- プロテクトされた画像は、画像の消去時は有効ですが、**フォーマットする** P77 操作を行うと消去されます。
- プロテクトを設定していなくても、メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ P35 を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。

1

を押して、 モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます。

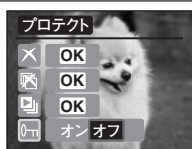
- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

2

【▲】【▼】でプロテクトを設定したい画像を表示させます。

3

MENU を押します。
再生メニューが表示されます。

4

【▲】【▼】で[プロテクト]を選び

OK を押して、[オン]／[オフ]を選びます。

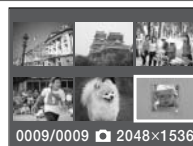
MENU を押して再生モードに戻ります。
- [オン]を選ぶと選んだ画像がプロテクトされ液晶モニターに 0ᅲ が表示されます。

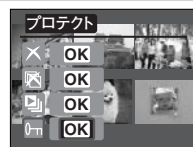
- 液晶モニターの表示が「画像のみ」に設定されている場合は、0ᅲ は表示されません。
- 画像のプロテクトはインデックス再生画面からも行うことができます。**インデックス再生画面からプロテクトを設定する場合** P75 の手順で操作してください。

インデックス再生画面からプロテクトを設定する場合

1

シングル再生時に OK を押します。
インデックス再生画面になります。
インデックス再生をする場合は P49

2

MENU を押します。
再生メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で[プロテクト]を選んで、

OK を押します。

応用操作編

画像プロテクトを設定する

4

【▲】【▼】でプロテクトしたい画像を選び、

OK を押します。

選んだ画像がプロテクトされ画像の右上に 0┳ が表示されます。

- 続けてプロテクトする場合は【▲】【▼】で画像を選択して OK を押し、終了する場合は MENU を押して、インデックス再生画面に戻ります。

消去について

■ フォーマットする

モード：

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**してから使用してください。
- フォーマット（初期化）すると内蔵メモリまたはSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

1

モードから、MENU を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】で モードを選び、

OK を押します。

セットアップメニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［フォーマット］を選び、

OK を押します。

フォーマット確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだフォーマットされていません。**

4

フォーマットする場合は OK を押します。

フォーマットが実行され、セットアップメニューに戻ります。

または

キャンセルする場合は MENU を押します。

セットアップメニューに戻ります。

5

MENU を長押ししてモードセレクトメニューに戻ります。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法、
PCカメラとして使用する方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows Me/2000/XP 日本語版
□USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

1 カメラとパソコンを接続する P81

※初回接続時は［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

↓

2 ［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（=カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする。 P82

↓

3 カメラを取り外す P85

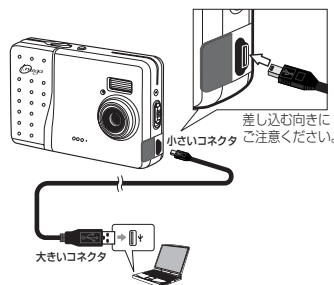
1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- 液晶モニターは表示されません。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P29 ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されます。
- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P85 に従って操作してください。

1 カメラの電源がオフになっているかを確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチを押して電源をオフにします。

2 USBケーブル（付属）の大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

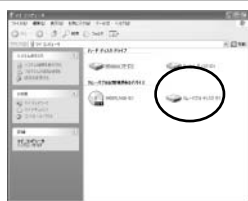
BUSYランプが点灯し、カメラが［リムーバブルディスク］として認識されます。

- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。

●「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

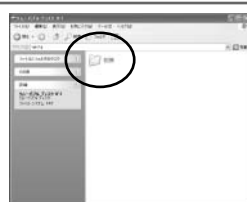
●Windows XPをお使いの場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリックします。

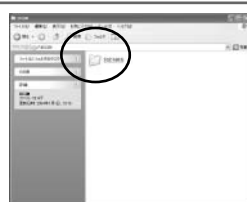
2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

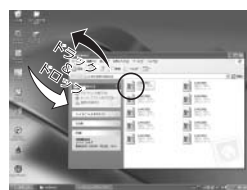
市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1

1 カメラとパソコンを接続する P81 に従い、カメラとパソコンを接続し、[マイコンピュータ] から[リムーバブルディスク] をダブルクリックして開きます。

●[リムーバブルディスク] が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** P88 をご覧ください。

2

[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

3

[100_HCAM]（コピーしたい画像の入っている）フォルダをダブルクリックして開きます。

4

パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

●同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ＆ドロップ・・・

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うこと。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）こと。

- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P77 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について：
XXX_HCAM
フォルダの通し番号（100〜999）

ファイル名について：
HIMGYYYY.jpg（動画ファイルは.avi）
ファイルの通し番号（0001〜9999）

フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた際に一つあがります。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2 タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。

タスクバー

〈Windows XPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します

〈Windows 2000の場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (J:) を停止します

〈Windows Meの場合〉 USB ディスク - ドライブ (E:) の停止

0:28

［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

(Windows XPでは [OK] のクリックは不要です。)

4 カメラを取り外します。

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。P26
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源スイッチ押す。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	●再生モードを多用してる。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P60
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26

症状	原因	処置
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
	●ストロボの充電をしている。（ストロボオートモードに切り替えた直後）	→ストロボの充電が終わるまでお待ちください。

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生モードになっている。	→MENUを長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、静止画撮影モードに切り替える。P20
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P29
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所へ移動して撮影する。
撮影できない	●画像記録中・ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→BUSYランプの点灯・点滅が終わってから撮影する。
	●静止画撮影時、動画撮影もしくは再生モードになっている。	→MENUを長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、静止画撮影モードに切り替える。P20
	●動画撮影時、静止画撮影もしくは再生モードになっている。	→MENUを長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、動画撮影モードに切り替える。P20

症状	原因	処置
撮影できない。	●オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P60
	●メモリ残量がない。	→画像サイズを小さくする。P62 →内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P51 か、別のSDメモリーカードと交換する P34 。
	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに🔒が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P35
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが発光禁止モードになっている。	→ストロボモードをオートにする。P40
	●マクロモードになっている。	→標準モードに切り替えて P42 、再度ストロボオートモードを選択する。
	●電池残量が少ない場合は、ストロボオートモードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	—
	●被写体が明るい。	→本機には強制発光ストロボモードは搭載しておりません。
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲（約1.2m～約1.5m）で撮影する。P41
ストロボ撮影したら、撮影画像が白くなる。	●被写体が近い。	→ストロボ連動範囲（約1.2m～約1.5m）で撮影する。P41

症状	原因	処置
撮影画像がぼやけている。	●レンズに指がかかっている。	→レンズに指がかからないようにカメラを正しく構える。
	●マクロモードで遠景を撮影している。	→標準モード（約120cm～∞）に切り替える。P42
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（マクロ時：約17cm～約20cm、標準時：約120cm～∞）で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ブレ・手ぶれ	→しっかりとカメラを固定（三脚を使うなど）して撮影する。
画像にしまがはいる。	●電源周波数（ヘルツ）が影響している。	→電源周波数（ヘルツ）を合わせる。P32
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P51 か、別のSDメモリーカードと交換する P34 。
静止画／動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
内蔵フラッシュメモリ(32MB)に記録できない。	●SDメモリーカードが装着されている。	→電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。P34

静止画／動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→MENUを長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、再生モードに切り替える。P20
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像を消去する

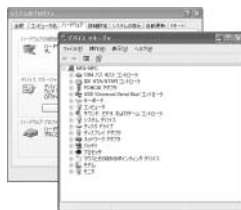
症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P35
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク]が表示されないなど）	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。P81 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●本カメラの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。[デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。	→[Digicam USB Mass Storage]に、黄色い「！」マークが付いているときは、[Digicam USB Mass Storage]を[削除]してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。[デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。	→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。

症状	原因	処置
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P81 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→カメラを取り外すときは P85 に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

［デバイスマネージャ］は、［マイコンピュータ］から右クリックで［プロパティ］を選ぶか、［コントロールパネル］から［システム］をダブルクリックして、［システムのプロパティ］から開きます。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●［表示言語（Language）］が［English］なっている。	→［表示言語］を［日本語］に切り替える。P58
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
カメラの操作ができない。（BUSYランプの点灯が消えないなど）	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P34 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。P34 →お買い上げの販売店へご相談ください。
液晶モニターが突然オフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P60
	●ストロボを充電している。	→ストロボの充電中は液晶モニターは表示されません。

警告表示など

表示	原因	処置
(カードロックアイコン)[撮影時]	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。

■ メニューと設定項目

【　】：初期設定

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
静止画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ	P62	【2048×1536】／1600×1200／1280×960
		露出補正	P64	−2／−1.5／−1／−0.5／【0】／0.5／1／1.5／2 (EV)
		セルフタイマー	P65	【なし】／10秒／15秒／20秒
		撮影モード	P67	【シングル撮影】／連写撮影
		ホワイトバランス	P69	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2
		日付プリント	P70	【オフ】／日付のみ／日付/時刻
動画撮影モード	撮影メニュー	露出補正	P64	−2／−1.5／−1／−0.5／【0】／0.5／1／1.5／2 (EV)
		ホワイトバランス	P69	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2
再生モード	再生メニュー	消去	P51	画像を消去します。
		全画像消去	P55	すべての画像を消去します。
		スライドショー	P71	スライドショー再生を開始します。
		プロテクト	P73	画像プロテクトを設定します。
セットアップモード	設定メニュー	日付／時刻	P30	日付／時刻の設定画面を表示します。
		表示言語	P58	日本語／English (英語)／ 简体中文 (中国語)
		フォーマット	P77	内蔵メモリまたはメモリーカードをフォーマットします。
		オートパワーオフ	P60	30秒／【1分】／3分／5分
		ヘルツ	P32	50Hz／60Hz
		初期設定に戻す	P36	各設定内容を初期設定に戻します。
		システム情報		バージョン情報を表示します。

■ 仕様

項目		仕様
有効画素数		約315万画素
撮像素子		1/2インチCMOSイメージセンサー (総画素数：約321万画素)
記録媒体		内蔵32MBフラッシュメモリ、SDメモリーカード (32/64/128/256/512MB/1GB)(※1)
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF1.0、EXIF2.1準拠）
	記録画素数	2048×1536ピクセル(約315万画素) 1600×1200ピクセル(192万画素) 1280×960ピクセル(約123万画素)
	圧縮率	1/4
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI(Motion JPEG、音声なし)
	記録画素数	320×240ピクセル
	フレームレート	約15フレーム/秒
	圧縮率	1/8
レンズ	構成	4群4枚(非球面レンズ2枚)
	焦点距離	f=8.34mm(35mmフィルム換算：約44mm)
	F値(最大値)	F3.0
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタル4倍ズーム
液晶モニター		1.5型TFTカラー液晶 約6.7万画素(280×240ピクセル)
撮影可能範囲		標準：約120cm〜∞、マクロ：約17cm〜約20cm
シャッター		電子シャッター、1/6〜1/2000秒
撮像感度		ISO100相当
測光方式		中央部重点平均測光(48ポイント測光)
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV〜+2.0EV(0.5EVステップ)
ホワイトバランス		オート／プリセット(晴天／曇天／白熱灯／ 蛍光灯1／蛍光灯2)
ストロボ	連動範囲(推奨)	約1.2m〜約1.5m
	発光モード	オート／発光禁止
セルフタイマー		タイマー時間10秒／15秒／20秒
撮影モード		シングル(通常)撮影、連写撮影(3枚連写、約0.6秒 間隔)、動画撮影
再生モード		シングル(通常)再生、ズーム再生、インデックス (6分割)再生、スライドショー再生、動画再生
オートパワーオフ		30秒間／1分間／3分間／5分間
インターフェース		USB端子1.1仕様
電源		単4形乾電池2本(アルカリ乾電池／ニッケル水素 電池(別売))、USB接続時：パソコンより供給
外形寸法		幅86×奥行22×高さ56mm(突起部除く)
質量		約75g(電池、付属品除く)
使用条件		0℃〜40℃、湿度90%以下(結露しないこと)

（※1）SDメモリーカードは別売です。

画像記録枚数・時間（※2）

記録画素数（ピクセル）	内蔵32MB フラッシュメモリ	SDメモリーカード 64MB（別売）
2048×1536(約315万画素)	約35枚	約68枚
1600×1200(192万画素)	約58枚	約112枚
1280×960(約123万画素)	約91枚	約176枚
320×240【動画】	約340秒	約690秒

（※2）画像記録枚数・時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（※3）

使用電池	撮影可能枚数 CIPA（※4）	再生時間 （※5）
単4形アルカリ乾電池LR03（付属）)	約80枚	約120分

（※3）標準環境において、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。

（※4）CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による撮影条件
- 30秒間隔でストロボを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、10分間放置

（※5）約3秒１コマを連続で再生した場合

メ　モ

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL　0120−3121−68
FAX　0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL　0120−8802−28
FAX　03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス
http://www.hitachi-ls.co.jp/